

## J A全農ETセンターニュース平成23年10月特別号

「ET牛が大活躍：第15回北海道総合畜産共進会肉用牛の部でグランドチャンピオン・乳用牛の部でインターミディエイト&リザーブグランドチャンピオンを獲得」

第15回北海道総合畜産共進会（肉用牛部門）が本年9月10・11日に、音更町の十勝農協連家畜共進会場にて開催されました。総合共進会は4年に1度の開催ですが、昨年は口蹄疫の影響で延期となり、5年ぶりの開催となりました。今年は全道各地から115頭の肉牛が出品されました。第6部出品の黒毛和種経産牛が肉用牛部門のグランドチャンピオンの栄誉を獲得しました。「本牛：しらかつきよ号」は父：平茂勝、母：みやさかえ5（81.5点）、母の父：飛驒白清です。全農ETセンター供卵牛から採卵し・ETを実施後、妊娠した乳牛受卵牛を幕別町の山田敏明さんが分娩させた和牛ET産子（H20年4月生まれ）をいとこの山田貴赦さんが引き取り、哺育・育成し、経産牛として本共進会に出品された。今回の受賞は育成技術を含む、和牛繁殖牛の飼養管理に、ご家族一同が日々、ご努力された賜物と考えられます。山田さん誠におめでとうございます。

肉用牛中央審査委員の西部畜産部長（十勝農協連）の本牛に関するコメント

「本牛は若い経産牛だが、抜群にバランスのとれた体積均称の体型であり、特に肋の充実と背腰の強さは極めて秀でていました。」とのこと。

十勝管内幕別町の山田貴赦さんの談話

「飛驒白清に平茂勝という血統に魅力を感じ、大事に育てた。性格もおとなしく、初産分娩前後からさらに良好な発育を示してくれた。この度の受賞は皆様のおかげで、大変感謝している。」との後日談話をいただきました。

和牛に先駆けて、9月3・4日にかけて、安平町の北海道ホルスタイン共進会場にてホルスタイン395頭を集めた乳用牛部門が開催されました。

リザーブグランドチャンピオンにはシニア3歳でインターミディエイトチャンピオンのハッピーグローリー・ダンディー・エターナル・ET号が選ばれました。本牛はETセンターのある地元の上士幌町、熊谷肇さんが出品されました。本牛の母および祖母（母：バドジョン・ストーム・エクセレンシー号、祖母：バドジョン JK・スカイック・エリザベス・ET号：上士幌町、小椋茂敏氏飼養）は当センターで採卵し、子孫が多数繁栄・活躍している国内でも有名なファミリーです。乳牛管理には定評のある熊谷さん、今回は本当におめでとうございます。

十勝管内上士幌町の熊谷肇さんの談話

「本牛からの雌産子がまだいないので、ETセンターで採卵をお願いし、雌産子をたくさん増やしたい。」との後日談話をいただきました。



しらかつきよ 号



ハッピーグローリー ダンデイー エターナル ET 号